

決議案第6号

つくば中心市街地の魅力あるまちづくりのための施策を講じることを求める
決議

上記の決議案を次のとおり提出します。

平成29年12月15日

提出者	つくば市議会議員	小久保	貴史
賛成者	つくば市議会議員	高野	文男
	〃	宇野	信子
	〃	塚本	洋二
	〃	小野	泰宏
	〃	須藤	光明
	〃	鈴木	富士雄
	〃	滝口	隆一
	〃	金子	和雄

つくば中心市街地の魅力あるまちづくりのための施策を講じることを求める決議

筑波研究学園都市は国家プロジェクトとして我が国の科学技術振興のための拠点として集中整備がなされ先導的な都市づくりが行われてきている。

特につくば駅周辺を中心市街地は、交通機能や業務機能、教育機能、公共機能など、多くの都市機能が集積するなど、つくば市が研究学園都市として発展を遂げる中で、県南地域の核としても大きな役割を果たしている。

しかし、平成24年に公表された国家公務員宿舎削減計画により、多くの宿舎が売却されまちの再編が強いられた。まちづくりに与える影響は大きく、跡地処分をはじめ対処法について「つくば中心市街地再生推進会議」で協議し、取り組んでいるところであるが、筑波研究学園都市の特徴でもあるアーバンデザインが大きく転換されようとしている。つくばエクスプレス沿線開発も重なり住宅需要が限られていることから課題は深刻である。

さらに、つくば駅周辺においては、本年2月の西武筑波店の閉店に続き、イオンつくば駅前店の年度内閉店が公表されるなど、中心市街地の空洞化が懸念されてきている。

また、多くの市民から魅力ある中心市街地の実現を求める声やクレオの再生を望む声など多数寄せられている。中でも市が行っているアンケート結果によると図書館の拡充や子育て関連施設等の要望など公共施設の整備を求める声が高い。

つくば市民の生活利便性の向上やつくば市全域の活力の創出及び魅力の向上のために、中心市街地が果たす役割の重要性は高く、魅力あるまちづくりに向けた取り組みを行うことが必要である。

以上のことから、つくば市議会として、クレオの再生を含む中心市街地の魅力あるまちづくりのため、以下のことを求める。

- 1 つくば市においては、公共施設の整備などの一定の財政負担を含め、早急かつ積極的な施策を講じること。
- 2 国、県、都市再生機構、筑波都市整備株式会社など関係機関に対し、拙速にことを運ばないよう申し入れを行うこと。

以上決議する。

平成29年12月15日

つくば市議会